

伊勢うどん友の会通信

暮れのぬくぬくふわふわ号

2012年12月吉日(0号)

発行・伊勢うどん友の会

日本初の伊勢うどん連載

「伊勢うどん全国制覇への道」がスタート！
全国にゆるゆると広がる驚きと感動の渦

クリエイターと読者をつなぐサイト「cakes(ケイクス)」。九月にオープンして以来、メディアの新しい可能性を切り開く期待の星として、大きな話題を巻き起こし、熱い注目を集めています。

そんな晴れがましい舞台で、日本初の伊勢うどん連載「伊勢うどん全国制覇への道」がスタートしました。全四回の予定で、十一月の末までに、第一回「世界はやわらかさを求めている！」(十一月十三日公開)と、第二回「地元はふわふわと燃え続けている！」(十一月二十七日公開)がアップされています。



cakes(ケイクス) <https://cakes.mu/>

十二月には、地元の製麺業界が一丸となつてよりおいしい伊勢うどんを作るために頑張ってきた道のりや、伊勢うどんをバックアップしている地元の自治体や観光協会、東京や全国に伊勢うどんの魅力を伝えようと果敢な戦いを挑んでいる人たちについて書いていく予定です。

第一回と第二回の原稿を別紙でお付けいたしました。ご覧いただけましたら幸いです。

女性誌&文芸誌にも、続々と(強引に)進出!

そんなわけで、注目度がいきなりアップしている伊勢うどん。女性誌や文芸誌にも華麗な進出を果たしています。どうか、無理やりねじ込ませていただきました。



上は、読めばたちまち「ツヤつと輝く40代女子力」が身につくオシャレ女性誌『GLOW』(二〇一二年十二月号(宝島社))。「いいね!と言われる40代女子力検定」という記事の中で、唐突に「伊勢うどん」の話を投入しました。(解答は裏ページにあります)



こちらは、読めばたちまち知性と教養が身につくことで知られるハイクオリティ文芸誌『野生時代』(二〇一二年十月号(角川書店))。給食系男子の一人として参加させてもらっている連載「レッツ!粉もの部」の第一回のテーマは「うどん」。冒頭のコラムで伊勢うどんへの愛を謳い上げたり、メンバーで伊勢うどん作りを挑戦したりしました。

これからも、チャンスとスキを見て、伊勢うどんの五文字をあつめてくださいますように祈っています。

フェイスブックページ「伊勢うどん友の会」、もうすぐ500いいね!



「伊勢うどん友の会」
<http://www.facebook.com/iseudontomonokai>
フェイスブックに登録していない方でも見ていただくことはできます

当会のマスコットキャラクター・ためどん



今日も全国の伊勢うどんファンが、伊勢うどんへの愛を語り合ったり情報を寄せ合ったりしています!

「伊勢うどん友の会」がフェイスブックページを立ち上げて早五ヵ月。おかげさまで、たくさんの方々に「いいね!」を押していただきました。感謝感激雨あられ茶漬けです。

当会から発信する記事だけでなく、みなさんからも貴重な情報をたくさんいただきました。愉快で貴重な伊勢うどん情報がギョツとやわらかく詰まったページになりました。

これからも、みなさんに助けていただきながら、より充実したページにしていきたいと思っております。引き続き可愛がつてってください。



ブログ「伊勢うどん友の会」もごひいきに!



伊勢うどん友の会では、フェイスブックページを元にした同名のブログも運営しています。

まだ歩み始めたばかりですが、ブログならではの使い方を徐々に模索していけたらと思っています。そちらも、ぜひのぞいてみてください。ご意見ご要望もお待ちしております。

「伊勢うどん友の会」<http://iseudontk.exblog.jp/>

嵐も伊勢うどんを絶賛！ 大野君が「ウマイねえ」と!!

伊勢うどん史に残る大事件が起きたのは、二〇一二年九月十七日(土曜日)のこと。日本テレビ系『嵐にしやがれ』で、嵐のみなさんが伊勢うどんを食べて、口々に絶賛する光景が全国に放送されました。

岸谷五朗さんがオススメする新宿ゴールデン街グルメ、という流れで登場したのが「べんぎん村」の伊勢うどん(七百円)。メンバーと岸谷さんのおもな発言を抜粋します。

松本「はじめて聞いた」

櫻井「太いわ」

松本「しかも、すごいやわらかい」

岸谷「最高!」

松本「モチモチ」

岸谷「ちよつと硬い麺が流行っている」

今、これは逆に、いいよね」

相葉「あーっ、あうっ、俺、大好きなやつ、これ」

岸谷「玉子がむちゃくちゃ利いてますね」

大野「いやー、これはねー、これはウマイねえ(ちよつとキャラを作った感じで)」

「一同」誰だそれ、誰だおい!(笑)」

ああ、さすが嵐! きつと彼らは、さらに太く長く成長していくに違いありません!



今日も新宿ゴールデン街5番街で伊勢うどんの魅力を広めるべんぎん村

この人もあの人も 伊勢うどんが大好き!

綾小路翔さん(氣志團)

二〇一二年九月二十日、ツイッターで伊勢うどんの話題をなさっていたので、不躰を承知でお礼を申し上げたら、すぐさま「大好きですー伊勢うどん!」という嬉しいお言葉を。

野宮真貴さん(元ピチカート・ファイヴ)

二〇一二年六月二十二日の午後、伊勢うどんと出合った感激を写真付きでツイートなさって、さらに「伊勢うどん最高!ハマった」とご発言。

加藤紀子さん(タレント、歌手)

三重県鈴鹿市出身で、かつて芸能人フードコートで伊勢うどん屋さんをプロデュースなさっていた加藤さん。「伊勢うどん友の会」のフェイスブックページにも、発足当日にあたたかい激励のコメントをくださいました。感涙です。

羽野晶紀さん(女優)

二〇一二年十一月四日、ご自身のブログで伊勢にいらした話を綴る中で、「腹こしらえはやっぱり、ご当地名物の、伊勢うどん」とご発言。すっかり食べ慣れてらっしゃるようです。



好評既刊!



石原壮一郎の最新刊『職場の理不尽〜めげないヒント45』(新潮新書、七四四円、岸良裕司さんと共著)、好評発売中!

働かない上司、やる気のない後輩……。Q&A形式で、会社に行くのがちょっとだけ楽になる大人な処方箋を伝授! 朝日新聞「be」で大きな反響を呼んだ連載が一冊に!

創刊のご挨拶

こんにちは。みなさん、伊勢うどん食べてますか!!

伊勢うどんを食べるたびに、伊勢うどんの夕しの香りをかぐたびに、私たちは大切なことをたくさん学ばせていただいています。その魅力をもっと広く知ってもらいたい、その奥深さをもっと探りたい……。そんな願いを込めて、当「伊勢うどん友の会」は立ち上がりました。

みなさまの支えなしでは、前には進めません。伊勢うどんの新たな可能性を探りつつ、ゆるゆると頑張っていきたいと思えます。今後ともよろしくお願いたします。

伊勢うどん友の会
代表 石原壮一郎



旅好きに大人気のサイト「トリッププランナー」(<http://tripplanner.jp/>)のインタビューでも、伊勢うどんへの熱い思いを語らせていただきました。(2012年10月31日掲載)



『GLOW』の解答

----- A12 -----

A-0がいいね!

B-3がいいね!

C-11がいいね!

菓子を安く食べ物を出した場合、ま、こけいっ配も賤し方受けません。しかし、おのよかに買ったら相手も困ります。結果的にお互い不幸になります。Cは、やや強硬すぎる態度。Bのやさしいアドバイスで、落ちついて未知の味を楽しんでもらいます。